

平成25年5月21日

【別紙2】平成24年度施策実施状況報告書

<p>□施策名 地下水等水資源保全対策について</p>	<p>□施策区分 1. 世界最高健康都市の構築 2. 交流人口の創出 3. 地域経済の活性化 4. 安心安全な子育て支援 5. 徹底した情報公開による市民参加型市政の実現 ⑥ その他</p>	<p>□所管部署 環境部 環境政策課 直通：0267-62-2917 kankyoseisaku@city.saku.nagano.jp</p>
---------------------------------	---	--

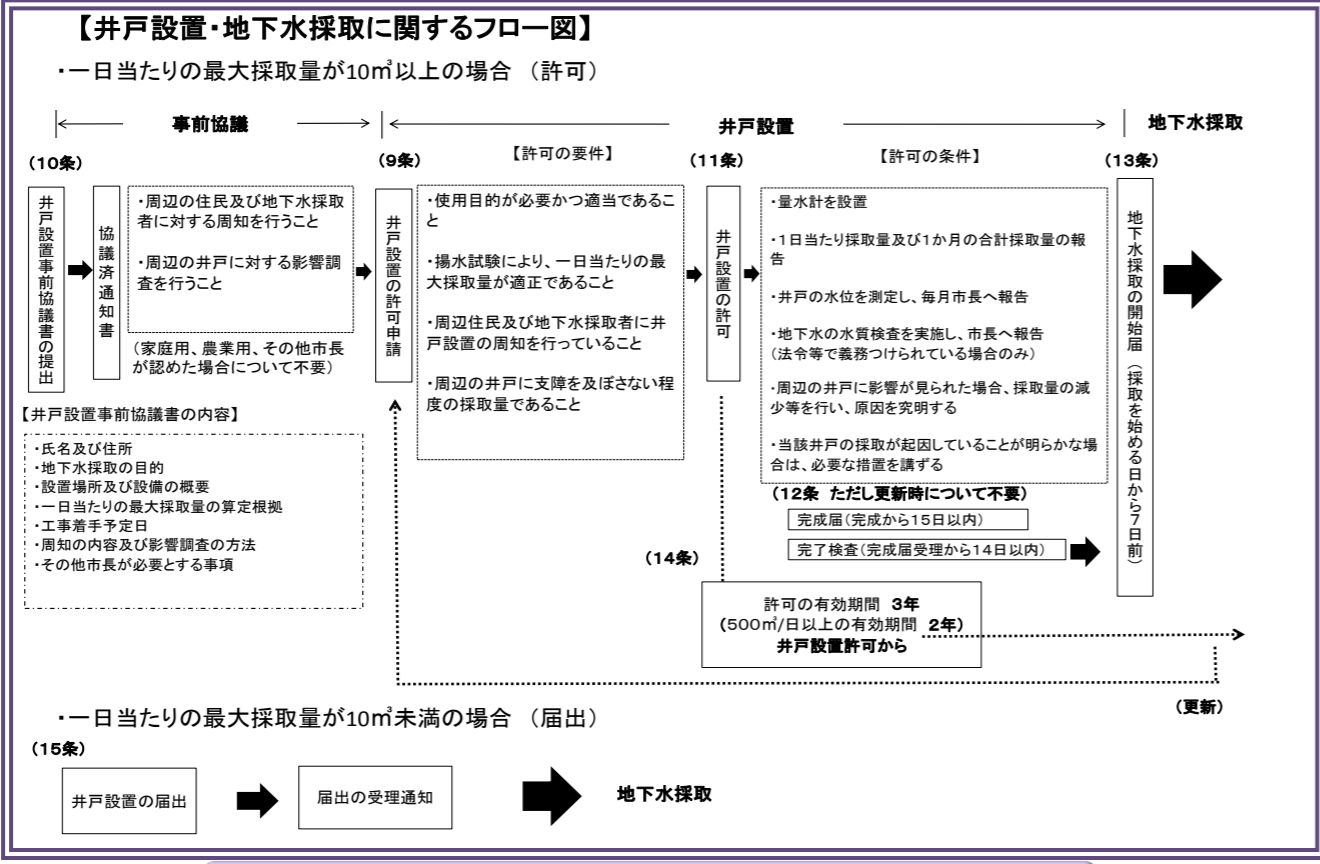
<p>□目的又は成果の目標 ここ数年外国資本等による森林買収の動きが問題視され、様々な買収目的がとりざたされる中で、その一つに地下水や湧水といった水資源の獲得が挙げられています。佐久地域共有の財産ともいえる地下水等水資源を保全していくため、市民や行政関係者を対象としたシンポジウムを開催し保全への意識喚起を図りました。一方、国や県に対しては法令等の整備を行う事や、水資源を地域共有の財産である公水として位置づけることなどを要望してまいりました。</p>	<p>□予算措置の状況 ○平成24年度決算見込み 8,208 千円 ○平成25年度当初予算 5,849 千円</p>
--	--

□施策概要 1 佐久市地下水保全条例の制定

佐久市における水道水の約98%が地下水や湧水であることから、地下水を地域共有の財産としての「公水」と位置付け、市の経済発展との均衡に配慮しながら、地下水を守り、育み、未来へ継承していくため、平成24年6月に「佐久市地下水保全条例」を制定しました。
(平成25年1月1日施行)

3 市民の皆様への水資源保全に対する周知

市民の皆様へ、水資源保全に対する意識の高揚と、地域住民の共有財産である「公水」としての共通の認識を深めていただくため、「信州佐久の水を守る」講演会を開催しました。(来場者数650名)



2 地下水賦存量調査の実施

地下水を管理し、水資源の保全と適正な利用を図るため、信州大学と協働で、佐久地域の地下水の賦存量調査を平成24年度より3カ年計画で実施しています。
 ◆平成24年度の調査結果(抜粋)
 平成24年6月～11月(8月を除く)の5ヵ月間の循環地下水資源量は、1億9千3百万m³～2億4千万m³と推定。
 同期間の深層(山間部)循環地下水資源量は、1億3千5百万m³～1億6千8百万m³、降雨の深層地下水への涵養率は平均13.7%～17.4%、同地下水資源量は水使用量の10倍～13倍と推定。

信州佐久の水を守る講演会

第一部 中屋 真司 氏 「佐久地域の湧水および地下水の年齢と水源域について」
 長野県 「長野県における水資源保全に対する取組み」

第二部 猪瀬 直樹 氏 「この国のゆくえ」

平成24年 7月28日(土) 佐久創造館 (約400名) 申込要
 午後2時～5時(開場1時30分) 入場無料

主催：「信州佐久の水を守る」講演会実行委員会 (佐久市、佐久水道企業団、浅瀬水道企業団)

～お知らせ～【水資源保全サミット(仮称)の開催について】
 水資源保全の意識啓発を全国に発信するため、平成25年10月5日(土)に、長野県佐久勤労者福祉センターにおいて、「水資源保全サミット(仮称)」を開催する予定です。(講演、パネルディスカッション、水資源の保全に取組む自治体の首長会議等予定)